



ならは交流館だより

平成 28 年 12 月 18 日 (日)、「第四回ならは交流館お茶飲み会」が開催されました。過去三回のお茶飲み会同様たくさんの方にご来場いただき、最終回となった今回も活気のある会となりました。ありがとうございました。

今回のお茶飲み会は「これがみんなの想いを集めたならは交流館だ」と題し、最終的な計画案の発表と、交流館のこれからについて話し合っていました。紙面の関係で全ての声は載せられませんが、抜粋してご紹介していきます。(ならはみらい)



1. 町長挨拶と、これまでの経緯について

計画案を決めるお茶飲み会は今回が最後ということもあり、松本幸英町長にもご出席いただきました。挨拶として、町民の想いのこもったならは交流館が、檜葉のみならず双葉郡の「復興の象徴」になるのではないかと語られていました。

次に、檜葉町復興推進課よりこれまでの経緯やプロセスについて発表していただきました。

4度にわたり開催された、ならは交流館のためのお茶飲み会は「意見を出し合い、想いを語り合いながら、みんなで一緒に交流館をつくっていきたい」という想いから開かれたものです。

震災によって人のつながりが大きく変わってしまい(引越しにより家族や仲間と離れて暮らすことになったり、新たに作業員やボランティアの方が増加する等)、各々が各々の場所で、不安や希望の中で生活を送るという現状にありました。その状況を変えるために、ならは交流館では久しぶりに仲間に出会える場所になったり、昔のようにワイワイできる場所である必要があります。過去のお茶飲み会でいただいた意見や想いが形となったならは交流館は、人が集まれる場所であり、みんなの誇りとなるような場所となるよう計画されました。

また今回のお茶飲み会は、年齢や職業は関係なく参加者は皆平等に話し合ってもらいました。あらゆる立場、環境の人が集まって想いを語り合うことで、少人数で検討するより、ずっとより良いものができたのではないかと考えます。

2. ならば交流館の計画案について (都市建築設計集団/UAPP 手島浩之)

お茶飲み会参加者の方の声から計画されたならば交流館ですが、今回の会で最新の計画案がお披露目されました。下記の4つのコンセプトを軸に案の説明がありました。

- ①とにかくここに人を集め、みんなが会う。
集まってきた人が出会い交流する場を作る。
- ②まちの目印となる建物、檜葉復興の象徴となる施設。
木を使い、あたたかみを感じられる。
- ③檜葉らしさ、情報、震災のことを発信する場。
- ④安心して子育てができ、一人でも家族とも仲間ともゆっくり過ごせる場。



大きな屋根が印象的な交流館計画案 模型

3. お茶飲み会物語の発表 (立命館大学 乾教授、助手西崎さん)

これまでのお茶飲み会の司会進行をしてくださった立命館大学の乾教授より、過去のお茶飲み会の振り返りを発表していただきました。

第1回お茶飲み会は、交流館のデザインよりもまず最初に、檜葉のいいところや想いを語り合い、それを踏まえて「**どんな交流館が必要か**」という大きな話からスタートしました。また、実際に敷地へ立ち交流館をイメージの膨らませてもらいました。

第2回ではカードを用いてゲーム形式で、必要な機能を議論したり、交流館のプランニングもイラストカードを並べて**参加者の方々に考えていただきました**。お茶飲み会では、グループで話し合い最後に班ごと発表するという流れで進行し、多くの意見をいただくことができました。

第3回では1、2回で出た意見を専門家が形にした計画案を発表し、そこへさらにコメントをいただきました。おおむね案の承認をいただき、今回の最終案発表へ向けさらに案をより良いものとなるよう検討するという流れとなりました。また、**交流館ができてからの使い方**について考えてもらう時間も設けました。

お茶飲み会の成果は、交流館計画案ができたことだけでなく、**檜葉の魅力を参加者が再確認**することができたということも大きいです。また管理や運営、イベントや日常活動等、完成後についても話し合い、皆で意見を膨らませることが出来ました。これからは檜葉町民の交流館物語は続いていくのです。**町民主体でできあがったならば交流館**は、「みんなの施設」と感じてもらえる場所になるのではないのでしょうか。

4. 参加者の声 ~これまでのお茶飲み会を振り返って~

最後に、参加者の方よりいただいた声を紹介させていただきます。



- 私たちも交流館と一緒に成長していきたい。
- 絵に描いた餅がようやく餅になった、どう料理するかは、我々町民の質が問われる。皆で考えていきたい。
- まちの若者たちにも、管理や運営にもっと参加してほしい。
- みんな檜葉のことが好きなんだと伝わり、嬉しい気持ちになった。
- 丁寧な施設のつくり方でとても良かった。

4回に渡り開催されたお茶飲み会は今回で一区切りとなりますが、参加者の方からもあったように、今後も**みんなで交流館を育てていきましょう!**今後、管理・運営のためのお茶飲み会を計画中です。交流館の物語、みなさんの物語はまだまだ続きます!ぜひ気軽にご参加ください。